



「理想のGXを作る！」

総会記念講演会に登壇の田原美優さんよりメッセージ

こんにちは！6月3日の講演会にお招きいただきました、Fridays For Future Tokyo（以下 FFF Tokyo）の田原美優です。FFF Tokyo で気候変動問題に取り組み、大学で哲学を学び、将来は農業のお仕事をしたい、好奇心旺盛な21歳です！

FFFは、グレタ・トゥーンベリの学校ストライキがきっかけとなり世界中に広がった気候変動運動です。デモ活動やイベント開催、政治家との意見交換等を行っております。先月3月21日には「気候ゼミナール～わたしたちのグリーントランスフォーメーション～」というイベントを開催しました。朝日新聞記者、FoE Japan 職員、福島原発事故避難者、COP27参加者のお話を聞いた後に、参加者が政府のGXを書き換え「理想のGX」を作るイベントでした。学びが多く、また楽しいイベントでした。

講演会ではFFF Tokyoのことをお話ししつつ、私も皆さんから市民発電所について教えていただきたいです。よろしくお祈りします！

「気候ゼミナール」の様子▶



第10回総会&講演会ご案内

日時：6月3日（土） 10時～12時30分

場所：練馬区立区民・産業プラザ（ココネリ）3階 研修室3

総会：10時～11時

2022年度の事業報告・決算報告、2022年度の事業方針・予算等について正会員の皆さまで話し合い、議決する機会です。

正会員の皆さまに5月下旬に議案書をお届けします。

講演会：11時～12時30分

『FFF Tokyoの活動報告』

田原美優さん（大学4年生。趣味はフラダンス、大学では哲学を勉強中。地元立川市では若者と政治を繋ぐ「こぶし新聞」（SNS）の運営と、気候変動関連でロビー活動などを行う。気候変動対策を求めるFFF Tokyoでも精力的に活動中。）

◆2023年1月～4月前半 元気力発電所の主な活動

1月6日～15日 パネル展（@石神井図書館）参加

1月11日 支援の日

1月14日

元気ちゃんのソーラー実験

2月1日 スタッフ研修

2月4日

元気ちゃんのソーラー実験

3月4日

練馬つながるフェスタ in 練馬
（ソーラークッカー工作教室実施）

3月8日

会員交流企画兼スタッフ研修
「今の福島と子どもたちの12年」

3月11日 支援の日

4月11日 支援の日

◆今後の予定

4月22日

元気ちゃんのソーラー実験

ゴールデンウィーク休業

4月29日（土）～
5月7日（日）

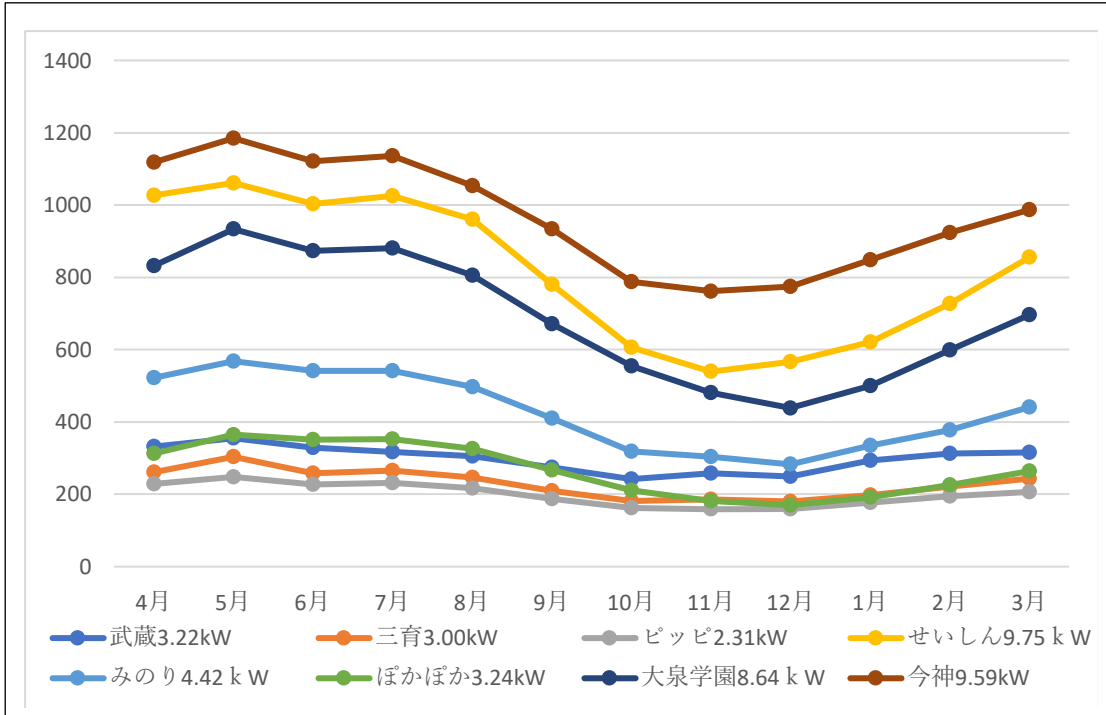
2022年度「支援の日」報告

11日を「支援の日」として当日の2ステーションの売上の30%をNPO法人福島こども保養プロジェクト@練馬に寄付する活動です。2022年度から同プロジェクトへ直接カンパの受付を開始しました。

4月、5月、7月、10月、11月、1月、3月計7回の支援の日を実施。売上からの寄付113,815円、直接カンパの預かり金23,895円を合わせて3月に送金しました。

2022年度練馬市民発電所の発電量・・・11号機の設置が決まりました。詳しくは次号で！

2022年4月～2023年3月の発電量のグラフです。毎月初めに設置先の方、ボランティアの方に発電量のチェックをお願いしました。皆さま、ご協力ありがとうございました。発電量のチェックは元気力発電所のウェブサイトで公開しています。過去のデータも見られるようになっていますので、ご覧ください。



2022年度は2021年度に比べてどの発電所も少し（数パーセント程度）発電量が減少しました。グラフにすると季節による違いがよくわかります。発電所ごとに季節による差異が違うのは、太陽光パネルの方角や角度によるものと思われます。（江原）

「練馬つながるフェスタ in 練馬」

3月4日（土）練馬区立区民・産業プラザ（ココネリ）で11時から14時まで開催されました。ワークショップの「手作りソーラークッカー工作教室」でソーラークッカー「ひまわり」の作成を行いました。

工作の時間を4回に設定した所、すぐに予約で埋まり、残念がる方やどこで手に入るかの問い合わせをいただきました。5歳から小学3年生まで7組の家族が参加し、上手にはさみでキットをカットして20分程度で完成しました。

ゆで卵や一人分のカップケーキやプリンができる説明を受け、すぐに使いたいと好評でした。

たたむとA4ファイルに収まり持ち運びやすいのですが、なぜか完成品を帽子にして帰るお子さん達がいて自由な発想が微笑ましい一日でした。（松尾）



3月8日(水)会員交流企画兼スタッフ研修

第1部は、「今の福島と子どもたちの12年」のタイトルで「福島こども保養プロジェクト@練馬」の宮下智行さんのお話を伺いました。参加者は会場8名オンライン5名、質疑応答も含めて2時間の交流会でした。12年たっても復興はなかなか進んでいない現状。報道では知りえないことを現地に何度も通われている宮下さんから伺うことができました。甲状腺ガンの問題、イノベーションコースト構想での子どもたちへの刷り込み教育、フレコンパックから無造作に出されて埋められる除染廃棄物の様子など、私たちが関心を持ち続けなくてはいけないということを改めて感じました。

第2部では2022年度の元気力発電所の活動をパワーポイントで紹介。その後、主に市民発電所・ミニ市民発電所の設置場所探しについて話し合いました。（松尾）

